

## 2019年度事業報告書

自 2019年4月 1日

至 2020年3月31日

2019年度事業は、年度事業計画に基づき整齊と実施された。  
以下、その概要を報告する。

### 第1 会の構成

#### 1 会 員

(1)正 会 員	前年度末	210 名
	入 会	13 名
	退 会	13 名(死亡退会者 1 名を含む)
	今年度末	210 名
(2)特別会員	前年度末	33 社 1名
	入 会	2 社
	退 会	1 社
	今年度末	34 社 1名

#### 2 役 員

- (1) 理 事 理事長以下9名
- (2) 監 事 2名

### 第2 事 業

#### 1 調査研究

- (1) 安全保障に関する研究討議を毎月1回(6月、8月を除く。)、計10回実施し、その成果を『安全保障を考える』に寄稿した。
- (2) 『安全保障を考える』を第767号から第778号まで、毎月1回1500部、計12回を発行・配布した。
- (3) 星友会(韓国軍退役将軍の会)との交流(「第7回日韓安全保障交流」)
  - 期 日： 令和元年10月29日(火)～11月1日(金)
  - 場 所： 韓国
  - 参加者： 安保懇側：火箱理事長以下8名  
星友会側：柳会長(元海軍大将)以下10名
  - 実施内容： 意見交換、国防部長官、合同参謀本部議長及び国連軍/米韓連合軍/在韓米軍司令官表敬、キャンプ・ハンフリース及び戦争記念館訪問  
『日韓安全保障交流成果報告書』を作成・配布した。

※本事業は笹川平和財団の業務委託を受けて実施

#### 2 講演会及び情勢報告会

##### (1) 講演会

- 令和元年6月18日(火)(於グランドヒル市ケ谷) 聴講者102名(会員、希望者)  
「安全保障面から見た日露平和条約交渉の行方」  
講 師 東京大学 先端科学技術研究センター  
特任助教 小泉 悠 氏

令和元年12月3日(火)(於グランドヒル市ケ谷) 聴講者88名(会員、希望者)  
「台湾の安全保障をめぐる情勢」

講師 東京大学 東洋文化研究所

教授 松田 康博 氏

(2) 情勢報告会

実施せず

3 研 修

(1) 沖縄方面研修

期 日 令和元年6月11日(火)～13日(木)

研 修 先 陸上自衛隊 与那国駐屯地(西部方面情報隊与那国沿岸監視隊)

海上自衛隊 那覇航空基地(第5航空群)

航空自衛隊 那覇基地(南西航空方面隊、第9航空団、警戒航空隊第603飛行隊、那覇救難隊)

参加人員 32名(正会員24名、特別会員8名)、内局・陸・海・空幕同行者各1名、計36名

(2) 中部方面研修

期 日 令和元年11月25日(火)～26日(水)

研 修 先 陸上自衛隊 守山駐屯地(第10師団)

航空自衛隊 岐阜基地(第2補給処、飛行開発実験団)、小牧基地(第1輸送航空隊、第5術科学校)、高蔵寺分屯基地(第4補給処高蔵寺支処)

防衛企業 川崎重工業株式会社岐阜工場

参加人員 26名(正会員17名、特別会員9名)、内局・陸・空幕同行者各1名、計29名

4 その他

会員に対し、会の運営状況、会員の動静等を通知するため、会報第36月号(元.12.1)を発行・配布した。

第3 会 議

1 定時総会

期日(場所) 令和元年6月18日(火)(於グランドヒル市ケ谷)

参加者総数 会員157名(内委任状126名)が参加

議事進行 理事長を議長に選任し、下記議案審議の結果、原案のとおり承認された。

第1号議案 平成30年度事業報告書(案)の承認に関する件

第2号議案 平成30年度収支計算書(案)の承認に関する件

第3号議案 理事及び監事の選任(案)の承認に関する件

<報告事項> 1. 2019年度事業計画書について  
2. 2019年度収支予算書について

2 理事会

(1) 第1回定例理事会

令和元年5月14日(火)(於グランドヒル市ケ谷)

第1議題 令和元年度定時総会開催及び付議事項等

第1号議案 平成30年度事業報告書(案)の承認に関する件

第2号議案 平成30年度収支計算書(案)の承認に関する件

第3号議案 理事及び監事の選任(案)の承認に関する件

<報告事項> 1. 2019年度事業計画書について

## 2. 2019年度収支予算書について

### 第2議題 理事会付議事項

第1号議案 運営委員の選任(案)の承認に関する件

第2号議案 会員の入会の承認に関する件

出席理事 9名中8名

#### (2) 第2回定例理事会

1 理事会の決議があったものとみなされた日 令和2年3月17日

2 理事会の決議があったものとみなされた事項の提案をした理事  
理事長 火箱 芳文

3 議事録の作成に係る事務を行った理事 理事長 火箱 芳文

#### 4 決議事項

第1号議案 令和2年度事業計画書(案)の承認を求める件

第2号議案 令和2年度収支予算書(案)の承認を求める件

第3号議案 運営委員の選任(案)の承認を求める件

第4号議案 2019年度会員の入会の承認を求める件

その他 令和2年度資金調達及び設備投資の見込みについての承認を求める件

令和2年3月4日、理事長火箱 芳文が理事全員及び監事全員に対して書面により上記理事会の決議事項について提案書を発し、当該提案につき、3月16日までに、理事の全員から書面により「同意」との意思表示を、監事の全員から書面により、「意義なし」との意思表示を得たので、公益社団法人安全保障懇話会定款第41条第4項に基づき、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

#### みなし決議の経緯

令和2年2月25日新型コロナウイルス感染症対策本部から新型コロナウイルス感染症対策の基本方針が発出されました。さらに3月1日には安倍総理大臣から「国内の感染拡大を防止するため、あらゆる手を尽くすべきである」という趣旨のメッセージが出されました。新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、政府の方針を基に3月末までの事業の実施について検討した結果、下記のとおり対応することといたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

安全保障懇話会は、令和2年3月17日(火)午後2時からグランドヒル市谷において定例理事会・運営委員会合同会議の開催を予定しており、皆様に参集を依頼していたところですが、

安倍総理大臣のメッセージ及び新型コロナウイルス感染症対策の基本方針の趣旨を踏まえて、理事、監事及び運営委員の「参集による決議」を変更して、安全保障懇話会定款第41条4項に基づく「みなし決議」によることとしました。

令和2年3月4日

公益社団法人安全保障懇話会  
理事長 火箱 芳文